

平成24年度 第1回鴨川市社会教育委員会議

1. 日時 平成24年6月26日(火)午後1時30分  
閉会 午後4時42分

2. 場所 天津小湊支所2階会議室

3. 出席者 社会教育委員(8名)

滝口弘委員、根本哲一委員、村山徳和委員、仲澤博委員、吉田高規委員、  
安田耕太委員、長谷川清美委員、立野慶子委員

事務局

蒔苗教育次長、黒野課長、川名課長補佐、板東社会教育主事、田中係長、  
近藤主査、石川主査、洲永主査、四宮主査、鈴木主任主事、石井社会教育指導員

※ 挨拶のみ 渡邊主任主事、山田主任主事、大澤主事、前田主事

4. 欠席者 前田隆行委員、庄司正義委員

5. 傍聴人なし

---

【委嘱状交付式】

蒔苗教育次長から新任委員へ(介添え黒野課長)

※ 教育長不在のため。

---

【第1回鴨川市社会教育委員会議】

(定足数報告)

1. 開会
2. 教育次長挨拶
3. 議長挨拶

川名 ここで、議事の進行につきましては、運営規則第4条によりまして、議長にお願いいたします。

安田議長 説明させていただきます。先ほど申しそびれましたけれども、先の安房地方社会教育連絡

協議会の総会におきまして、今まで会長を2年間務めさせていただきましたけれども、めでたく任を解かれましてたいへん気を楽しいておりますが、その間いろいろとご協力ありがとうございました。

それでは、議題に入らせていただきます。

まず、報告1、平成23年度事業報告について説明をよろしくをお願いします。

(事務局説明)

安田議長 ちよっと抜けておりまして、当然議事録署名人が必要でございまして、よろしければ立野委員にお願いしようかと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

それでは、立野委員よろしくお願ひしたいと思ひます。

これだけの人数でございましてお名前を言う必要はありませんが、挙手でご発言いただければありがたいと思っております。

(事務局説明)

安田議長 そしてお許しをいただきたいのですが、事業報告でございまして、一括してざっとやって最後にご質問、ご質疑をいただこうかと思っておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

それでは、続きまして文化振興室から。

(事務局説明)

安田議長 以上、事業報告についてざっと説明していただきました。途中割愛した部分もございましてけれども、これをご覧になりまして何かご質問がございましたらお願いいたします。ご質問がないようでしたら、これは報告でございましての了解として前へ進めていきたいと思ひますが、ご質問をお願いしたいと思ひます。

いかがでしょうか。ないようでしたら、私の方から1点、2点ございまして。

最初の事業報告の中で主催者がそれぞれあると思うんですが、主催者があるところは主催者をどこかに入れていただけたらうれしいなということをお願いいたします。それから文化振興室の方で指定文化財の実態調査をなさったそうですけれども、その中で管理状況、管理者の問題ではなく文化財そのものが問題にあるような状況で、改修をしなければならぬ特に目立ったものがあれば報告をお願いしたいと思ひます。

石川主査 特に緊急を要する改修工事が必要な文化財は今のところありません。ただ、市内には70件を超える文化財があるのですが、それを1年ですべて調査しているわけではありません。約半分弱の件数を今まで回っております。また継続して聞き取り調査をして、問題があれば早急に対処するように対応していきたいと思います。

滝口委員 公民館活動について教えていただきたいのですが、太海の教室は高齢者と女性学級、江見も高齢者と女性学級ということで、学級の内容について魅力的にどうなのか、多くが参加できるような教室なのかどうか、自ずと人口が減ってきて希望者がいないから教室も減ってしまったのか、この調子でいったら先細りしてしまうのではないか。あとは、中央公民館や天津小湊公民館あたりは非常に利用者も多く、教室も多いし、これだったら維持していけるだろうが、太海や江見あたりは自ずと消滅していくのが目に見えている状況があると思うが、その辺についてのお考え、対応を教えてくださいたいと思います。

安田議長 今日は太海・江見の担当者がおりませんので 100 パーセントというわけにはいかないでしょうが、わかる範囲でお答えいただければと思います。

四宮主査 太海・江見ともにだいたい同じ地域性だと思います。鴨川市として同じ海沿いで同じ地域性だと思いますので、ニーズとか必要性については変わらないと存じております。ただ、人口的には江見や太海の方が鴨川や天津に比べて若干少ない面はあろうかと思いますが、もう少し利用者の意向等をリサーチして、よりよい内容にしていくよう努力していきますので、よろしく願いいたします。

石井社会教育指導員 今年度から公民館を担当するようになりましたが、昨年度もいくらかかかわっていましたので報告させていただきます。

実は後で24年度の事業計画が出されます。資料3の12ページ、13ページに江見公民館、太海公民館、曾呂公民館の24年度の主催事業が載っています。その中で講座数が増えています。実は、この場ですから端的に申し上げますと、江見地区の公民館長さんが毎年のように代わられるというような中で、前年度を踏襲するような形での講座の開催がどうしても行われてきたということが実情でございます。昨年度から担当している江見地区の館長さんが非常に検討されて、24年度は新たな講座を開設されて充実させていこうと、そんなことで取り組みをしているところであります。

もうひとつは図書館の方が非常に頑張ってくださいまして、曾呂公民館に昨年度図書館の分室といったらいいんでしょうか、図書館から本を持って行ってそれを公民館で借りて読める、曾呂小学校の子どもたちや幼稚園の子どもたち、また、地域の方がだいぶカードを作って借りに来てくださって、公民館を活用してということが、それはこの中に入っていないんですが昨年度はそういうものがありました。今年度はさらに江見公民館でも行われるということで、7月7日に江見でも図書館の分室が開設されて、公民館を活用していくということが行われております。

先走った話になりましたが、ご指摘はもっともなことだと思います。十分な充実、活用がさ

れていくことを進めていきたいと思ひます。

黒野課長 近年の鴨川市の公民館の利用者が、人口の減少や高齢化ということで毎年減少しております。そういう中で鴨川市の場合、11の公民館が各小学校区にありますので、主催事業を充実させて利用者を増やしていくというようなことで、昨年度くらいから力を入れてやっております。全体的にはそういうことでよろしいのでしょうかけれども、やはり各地域によって公民館の利用率、活動状況というもの異なっておりまして、活発なところ、そうでないところがございますので、今校長のほうからお話がありましたように、太海、江見、曾呂、この辺はやはり他の地域と比べると若干活動が低下しているというような地域でございます。したがって、こういう地域を優先して何とか公民館に来てくれる意義のある事業を考えていくということが大きな課題でございます。何とかその辺も、課題も考えながら、少しでも利用者を増やしていきたいと思ひています。

あと、高齢化でどうしても若い方が公民館になかなか来てくれない。これもやはり一言で言ってしまうと魅力がないから来ないということになるかと思ひております。しかしながら、高齢者の方は寿命も延びておりますし、お年寄りになっても健康な方が多くおりますので、公民館の利用は結構活発でございます。女性学級につきましては女性の方も多く公民館を利用していただくということで、こういう教室も作っております。

また若年層、こういう方の取り入れですが、これも非常に難しいものがございますけれども、何とか試行錯誤しながらやっていきたいと思ひております。

安田議長 公民館の事業計画の中でも触れていくと思ひますが、江見、太海、曾呂それぞれ公民館の目的の一つに貸館的なものがございます、地域のコミュニティというところもございまして、人数を見ますと3千人から4千人弱くらいまでお使いになっているわけです。そんなに遜色ない地域の利用者という面もあるということもこの資料の中から読み取れると思ひます。

根本委員 図書館の利用に関してお聞きしたいのですが、差し支えない範囲、わかる範囲でよろしいんですけども、16ページの一番下の図を見ますと、入館者数が21、22、23年度と大雑把に言って4千人ぐらいつつ増えてきていますよね。それに伴い貸出しの人数も3千ぐらいつつ増えていると。そして貸出しも8千冊くらい増えていますかね。これは今の曾呂公民館に図書館の分室ができたり今年度江見公民館にそういうことができるというお話がありましたけれども、そういうご努力の結果なのかなというふうにお聞きしておりましたけれども、改めて入館者数、あるいは貸出しの数、順調に利用率が上がっている原因をどんなふう考えていらっしゃるのかということが一点。それからどういった年齢層の方が増えているのかということ。そして、3万6千人前後の鴨川市の人口規模から言うとこの入館者数、その他割合というのを図書館ではどのように把握されているのか、その辺りをお聞かせいただきたいと思ひます。

安田議長 図書館についてはかなり精力的に努力していて、表彰されたのは一昨年でしたか、昨年ですか。

洲永主査 入館者等が増加しているということで、図書館では常に赤ちゃんからご高齢の方まで多くの方に平等に図書館を使っていただけるように、図書環境を提供していける運営を心掛けております。その中でどの年代層にも受け入れられるような展示や本の紹介といったものを多く展開しているところですが、行事等についてもどの年代の方にも楽しんでいただけるように、赤ちゃんからはブックスタート事業、おひざにだっこのおはなし会等、大人向けの朗読会も県内ではあまりないということで、県北の図書館からも問い合わせがあるなど、大人向けに朗読者がいて多くの人に対しての朗読会をする、そういった行事、新しいものを取り入れながら実施しているところの努力が報われているのではないかと考えています。この数字の中には曾呂公民館や大山公民館の図書室、分室の数字は入っていないので、ストレートに図書館の来館者、貸出人数という数字です。

利用される年齢層についてですが、今問題になっているのは中学生、高校生の利用がどうしても伸びていかない、本を館内で充実させていってもなかなか図書館まで来館してくれる中高生が少ないということで、24年度の事業計画の中にも載せさせていただきましたが、中学生へのアンケート調査をして、その結果本を配本できるシステムを作りたいなということは今計画しております。現在、鴨川中学校と長狭中学校の方へアンケートを依頼しており、来週天津の方へ行く予定です。現状では60歳代、70歳代からの高齢の方の利用が一番増えております。

人口に対しての利用についてですが、こちらの方はまだまだじゃないかというふうに考えております。県内でもサービス指標を見ますと下の方であるのは事実なので、まだまだ努力すべきことがあるのではないかと考えています。よろしくご指導いただきたいと思います。

黒野課長 図書館の利用者が増えてきた要因ですけれども、これにつきましては、ここ2年間予算を少し増やしてもらいまして新刊本や市民のニーズにあった本を購入することが可能になりましたので、こういうことも一つの要因とっております。それと、大活字本や新刊本、こういうものを多く購入させていただいております。あと、図書館の利用者を増やすために様々な事業を展開して、まず図書館に来てもらおうと。そして、来ていただいたお客様に図書館で本を借りていただくという取り組みを行っております。そういうことの努力でここ数年は増加傾向にあるというふうに考えております。

そして年齢層についてですが、小学校、中学校、高校生、この層は全く低い状況で、中高年層、この層が多くて、今言った若い人たちは非常に少ないということが続いております。これについては様々な取り組みをしております、各学校にいろいろプロモーションさせていただいて、様々なことで呼びかけをさせていただいております。しかしながら成果というものはすぐには出ませんが、今後こういう取り組みの中で成果が出ていくのかなと存じております。

それと、鴨川市が約3万5千人位の市民の中で図書館の利用率がどうかということですが、千葉県内ではやはり低い方です。これはいろいろな要因があると思いますが、ある資料によると鴨川市とあまり変わらない人口規模ではないかと思いますが、横芝光町が千葉県内で断トツなんです。本の貸出冊数ですとかすべてがトップなんです。これについては、その辺の利用を聞いてみて、何で人口の少ないところでトップを維持しているのか、これ

から検討させていただいて、鴨川市ももっと図書館の本を多く利用していただく、一人ひとりの市民の皆様にも多く利用していただく取り組みをしていくこと、そこが大きな課題であると思っております。

安田議長 個人的には予算を増やすことが一番いいということを次長さんにお話しようと思いましたが、言いそびれました。

それでは、次の事業計画の方に移ってまいりたいと思います。説明をお願いします。

(事務局説明)

安田議長 以上でございますが、これらについて説明をかなり急ぎましたけれどもご質問をお願いしたいと思います。

仲澤委員 横山大観の絵は数十年前から校長室にあったのを知っていたのですが、その証拠って言うのは、誰がどこへって言うのはまだわからないんですか。あそこへ寄贈した由来ですね。

石川主査 これも、実はかなり以前に吉尾小学校に寄贈されたということです。吉尾小学校に寄贈された経緯は、当時の担当の方がいらっしゃらないので詳しいことはわからないのですが、地元出身者、たぶん吉尾小学校の卒業生が母校に寄贈したということのようです。その寄贈した方がどういう経緯で入手したのかということまでははっきりしません。

先ほどお話ししましたように、横山大観記念館の館長さんに見ていただいて大観謹写という字が入っていることが確認されましたが、謹写という字は個人の方に描いたものではなくて、神社ですとかそういう施設に謹んで奉納するというような目的が想定されるということで、どうも個人の方に描いて寄贈したということではなくて、神社のようなところから何らかの状況で出てきて、それを地元の吉尾小学校卒業生が何らかの形で入手してそれを学校に寄贈したというような経緯が想定されますが、詳しいことはわかりません。ただ、横山大観記念館の館長さんによるとこれは真筆であろうというお墨付きはいただいております。

仲澤委員 これは、地元でも偽だろうとかいろんな話題の一つで、どうしてそこへあるのか経路もわからない、地元でもなかなかわからないということで、謎の一つと考えていたんです。

黒野課長 よほどじゃないと謹写ということで寄贈しないようです。天皇家、公家とか権威者、よほどその周辺に由緒ある神社があって、また大観との縁があって寄贈されたか。実は横山大観記念館の理事長は大観のお孫さんなのです。お孫さんといってももう80くらいですか。逆にどういう経緯があってこちらでお持ちになったのかという話をされて、実は我々もいろいろ調べたのですがよくわからない、それが実際のところですよ。

滝口委員 昨年度行われた生涯学習課事業報告の中で大学との交流事業、10月21日、鴨川市・東洋大学交流事業ということで講演会。もう一つは1月28日土曜日ですか、丸山さん。昨年、

一昨年と動員がかかって私行ったのですが、10月21日の出席者を見回すと学校関係者と教育委員会、あと外部から来ている人は本当どのくらいいたのかということが気になっていたのです。今年度もまた同じ頃に、土曜日に、しかも専門的なことですよ。前回原子力のことでしたけれども、大学の講義を聴いているようなイメージがありました。果たしてこれをやっただれくらいの人に来るのかなと。あるいは、また学校に何人出せというふうな文書がくるのかなというふうなことまで予想されるのです。もうちょっと持ち方、内容そういったものを考えた方がよろしいのではないのかと。人集めで何とかやるというのも気になります。

あと、何か交流事業というのはいまい方法はないのかな、多くの人に、学校関係者以外の人に来ていただいて学ぶということで企画に一考が必要なのではないかという感じがするのです。また今年も出てきたので担当者も苦しい思いをして出してきたのではないかなと思うのですが、お身内の苦しいところもわかるのです、これは。

安田議長 7月21日東洋大学、これについては意外に今年は話題がタイムリーなので、話の進め方としては結構一般の人も出てくるのでは。

黒野課長 講演会、例えば大学との交流事業ですが、これについては大学側のご厚意によりまして基本的に無料でやらせていただいております。実は先生と演題が年間のセットメニューの中に組み込まれていまして、その中からなるべく今の実情に合ったテーマですとか鴨川市で市民の皆さんが関心があるようなテーマですとか、いろいろ考えてやらせていただいておりますけれども、なかなか50名以上集めるのが現実苦しい中でやっております。これについては城西もそうですが、有名な先生を呼べば人は集まりますが、こういう中でやらせていただいているという状況で、昨年度の原発問題等々のテーマですけれども、これについては既にテレビやいろんなところでやっっていて、それをまた講演会をやったものですからなかなか人が集まらなかったということと、内容も滝口委員おっしゃるように大学の授業のようで、人が集まらなくて動員をさせていただいたというのが事実でございます。

講演会ですけれども、やはり予算も限られておりますので何とか大学側のご厚意の中でいい講演会ができればということでやっっているのですが、現実にはなかなか人が集まってくれないと。この辺はもちろんPR等の問題もございますでしょうけれども、これも一つ課題であると思っております。来月の「房総沖の活断層と地震」東洋大学の渡辺満久先生。この方はよくテレビに出ておまして、この方も講師料はほとんどボランティアの値段で来ていただけるということです。おそらく今議長が言ったようにタイムリーな演題でございますので、来ていただけるのかなと思っておりますけれども、動員はなるべくかけないようにしたいと思います。

石井社会教育指導員 今ご指摘のありました1月28日、土曜日に家庭教育講演会を開催いたしました。丸山貴代さんという人の講演は、実は平成23年1月29日にも行われて参加された方から非常に良かったと。これはオーシャンズ若潮明社が主催して、参加した人たちはもう一度聴きたいと。家庭教育学級が幼稚園、それも江見地区が参加しない状態の中で幼稚園の一部で行われているということでしたから、まずは生涯学習課でできる限り広い範囲で行おうじゃないかというようなことから行いました。211名の参加ということですが、確かに学校、幼稚園にも声をかけさせていただいて、校長先生方にはだいぶ大変な思いをさせたのではないかと思います。でも、子育てサークル関係の人たちが非常に努力してくださって保育室を用意しましたら54名の子どもたちを預かると、それも入り切れない子どもたちの数というようなことで。

アンケートも 70 数名の方からいただいて非常に好評だったと。一部の人は無理やり参加したのかなということもなかったわけではないかもしれませんが、内容はよかったよというような評判をいただいて、自画自賛をして申し訳ありません。

実は、今年度もまだ日程は決まっていないのですが、開催予定です。できれば 12 月近辺でやりたいなというふうに考えております。今回は永山友美子さんという方でアイリッシュハープの奏者、世界的なハープ奏者だそうです。その方が子育てトークをしながらその中にハープ演奏を織り込んでいくような講演をされたりしております。少年刑務所などいろいろな所でもボランティア活動をされていて、なかなかつかまらない方なので、今日程調整している最中なんですけれども、たくさんの方が来てくださるといいなあと。母と女性教師の会が 7 月に南総文化ホールで同じ方を呼んで講演されるということなので、聴きに行きながら当日の計画を作りたいなと思っているところです。またご協力をお願いします。

滝口委員 学校でも館山方面と鴨川方面で動員をかける場合、在住で分けてやっています。母女の会でも動員をかけると思いますから結構だぶることも出てくると思います。

安田議長 大学との交流事業は鴨川市の目玉でして、他の市町村からはいいですねと言われることも往々にしてありますので、ひとつ頑張って、滝口委員の意見は非常に貴重なご意見です。参考にして頑張ってくださいと思います。

補助金交付の中で 1 団体額が増えていますが、これはどうしてかというのが一点。それと、文化振興室の方で鞆鼓舞は県指定ですが、市指定の文化財というのは何か。その二点続けてお願いします。

近藤主査 24 年度の社会教育関係事業補助金の計画ですが、議長からご指摘があったとおり、社団法人鴨川青年会議所、昨年度は 16 万円で補助金額が確定しています。今年度は予算額で 20 万予算計上させていただいているところですが、こちらの事業は市内の中学校 1 年生を対象にキャリア教育の一環として青年会議所が、未来の職業について中学校 1 年生の子どもたちに考えてもらおう、そして地元に残って鴨川を活性化して発展させていってほしいという願いのもとにやっている事業の一つです。昨年度なぜ 16 万だったかということですが、予算では 20 万計上させていただいておりましたが、事業内容に変更がございまして事業費の方が減額となりました。補助対象経費はその事業費に対する 2 分の 1 以内ということで補助金要綱で定めさせていただいておりますので、16 万ということで 4 万円の減で確定させていただいております。

今年度につきましては中学校 1 年生、対象の児童が 35 名ほど増加になっておりますので青年会議所の方から 20 万という予算要望がなされまして、予算要求で 20 万つけさせていただきました。

安田議長 増えていけないということではなく、他も増やしてほしいなということです。

石川主査 文化振興室の補助金の交付計画ですが、23 年度の報告 15 ページと比較していた



だきたいと思いますが、実は 23 年度の報告の中であげさせていただいております 4 番と 5 番、4 番が県指定文化財、5 番が市指定文化財の補助金が今年度は交付されません。これにつきましては全庁的に補助金を見直し、その中で少額の補助金は廃止する方向が決まっております。それに沿って文化財の所有者、管理者の方と協議をして、説明会等を開いてご理解いただき、この 4 番と 5 番については今年度から交付しないということになりました。7,100 円を日常的な文化財の保護と管理のために交付しておりましたが、7,100 円という効果があるのかということもありまして、いろいろ検討した結果、この少額の補助金はなしにして、また、補助金の制度がなくなるわけではないので、所有者、管理者の方からの要望があればそれに対応して、その都度補助金をまとまった形で交付していくような制度に変えていくということで、4 番と 5 番については今年度 7,100 円は交付しないことになりました。

安田議長 問題は指定をしているからにはその裏付けをどうするかということの中で、補助金が付いてくるわけですから、今の話から読み取れますように何かあった時にはきちっとサポートする、補助対象にするということが、どういうふうに明確化されているのか、それについて私どもはちょっとひっかかるところです。

石川主査 そういう意味でも、常に所有者、管理者と連絡を密にする必要があるということもあって、聞き取り調査を継続していくということで、こういうことで直したい、あるいはこういうことで手を加えたいということがあれば、その要望に沿って市としてどういう形で補助できるのかをその都度検討しながら適正な対応をしていくと。その中で補助金を交付できて支援することができれば、なるべくそういう形で協力していきたいと考えております。

仲澤委員 私も地元で区長をやっているもので、担ぎ屋台が文化財になっていますが、それは一応今年度は確保されているのでしょうか。

石川主査 担ぎ屋台については 4 番の北風原の鞆鼓舞外ということで、これは県と市の指定になっている祭礼に関わる文化財、無形民族文化財に 2 万 5 千円ずつ交付しています。ただ流鏝馬についてはかなり経費がかかるということで額が違いますけれども、和泉の三役、担ぎ屋台巡行と北風原の鞆鼓舞につきましては多くの人が関わって経費もかかるということで、廃止された 7,100 円とは別枠で 2 万 5 千円を継続して交付するというで決定しています。

仲澤委員 来年うちの方の巖島神社で 60 年に 1 回の大きなお祭りがあるんですけども、大きな行事の時には文化財ということでそれはまた別枠で申し出ておいた方がいいですか。

石川主査 担ぎ屋台、大浦水交団の団長さんには 2 万 5 千円は継続して補助するというで、その旨は既にお話してあります。

安田議長 現実に文化財というのはそれを維持するのは大変なことで、消えるのはわけないんです。そういう意味で零細補助金といえども価値があったかもしれない。これは私の意見ですけれ

ども、その辺を十分考えて連絡調査等を緊密にして維持していくということが大事だと思っておりますので、よろしく願いいたします。

他にございますか。ないようでしたらば、この事業計画につきましてぜひ頑張ってほしいということでしたとしていきたいと思いますが、よろしいですか。

それでは今日もう一つございます。ちょっと休憩をして行政報告にしたいと思っております。5、6分、集まり次第ということで休憩をとらせていただきたいと思います。

(休憩)

安田議長 会議を再開いたしたいと思っております。

お手元にある資料のとおり平成 23 年度の鴨川市教育行政評価報告ということを議題にしたいと思っております。それについて最初にご説明をお願いいたします。

(事務局説明)

安田議長 今説明がございましたとおり最終的には議会に報告する資料の一部でございます。ですからよろしくお願いを申し上げたいと思っております。それで、今報告のございましたおりの進め方でよろしゅうございますか。

(「はい」という声あり)

それでは、そのように項目ごとに進めていきたいと思っております。

それでは多彩な学習活動の促進についてお願い申し上げます。

(事務局説明)

安田議長 ただ今の多彩な学習活動の促進の中でご意見を賜りたいと思っております。皆さんの委員としてのご指摘を頂戴したいと思います。

滝口委員 通学合宿について、私が江見中にいた時には希望者がなかなか集まらないということがありましたが、担当の方たちはなぜ集まりにくいのか考えてみてどうですか。今もそういう傾向があるんじゃないですか。参加する子どもが集まらない。私が中学にいた頃は再度集めてほしいと動員がかかったことがありますが、最近はどうなのでしょう。

板東社会教育主事 先ほど事業報告があったと思っておりますが、昨年度のマンボウ学習塾に関しては、定員以上集まって、部屋とか増設したと聞いています。

滝口委員 かつての苦労はなくなってきているということですね。

板東社会教育主事 はい。期間が非常に長かったのが短くなったりしたということで参加しやすくなったと思います。

滝口委員 期間が長いというのは、関わる先生方も夏休みでも出張が結構入っていてそこへ集中しているの、ほとんどが休みをとれない状況が続いているのが実情だと思います。そういった面でも3泊4日、この辺が適切ではないのかなという感じがします。小学校の合宿も様子を見に行ったこともあります。生涯学習の担当の方たちが家庭もあるのに大変だろうと、ちょっと同情の方が先に立ってしまったというふうなことで、申し訳ないと思います。

安田議長 私の方から、生涯学習ボランティアに係る要綱を制定し募集を図ったということが実施状況に出ていて、それについて結果の方では整備を進めていますというところが成果として出ているわけですが、その辺についてはどうでしょうか。

近藤主査 地域学習・ボランティア活動の支援というところの成果と課題の中に書かせていただいております生涯学習ボランティアについてですが、先ほどお話があったとおり、23年度につきましては要綱を制定し、鴨川市生涯学習人材バンクという組織作りに取りかからせていただきました。委員の皆様にお配りした資料の中にA4の横版で一緒に入れさせていただいているものがあると思います。そちらが生涯学習人材バンクの方で整備、取り組みまして、24年度、この4月から活用の方が始まっております。

こちらの評価につきましては23年度のことですので、先ほどのような表現をさせていただいているところですが、実際、6月1日現在、登録者が16名、男性が7名、女性が9名です。利用状況は、現在木工支援、技術支援ということで、長狭学園の長狭中1年生の授業の方に男性のボランティアの方が定期的に授業のサブということで活動しております。

また、今後の計画としては、7月の市P連のバレーボール大会にはこちらにご登録のボランティアの方が看護師の資格をお持ちなので応急処置ということで活動の依頼がきております。また、その後も土曜スクールで、女性のボランティアの方に編み物ですとか手芸工作の活動依頼をしたいという話を聞き及びます。また、8月に人材バンク登録の方を活用して子どもの短歌教室を計画し現在進行中です。

安田議長 23年度は整備を図っていくということで了とする、わかりました。  
他にどなたか。仲澤さん、青少年の健全育成については。

仲澤委員 担当がしっかりやってくれていますから。

安田議長 それでは、これについては次に進もうと、了とするということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

滝口委員 キャリア教育について、今校長会でも話題に出っていますが、中学校の方は生涯学習課で

担当、立ち上げる時は大変だったと思いますけれども、市内では助かっていると思います。小学校も同じように3年から6年でキャリア教育に近いことをやっていて、明日、田原小は「夢、ぼく、仕事、ぴったり体験」として校外学習で何か所か行くんです。市内の小学校でも西条あたりは都会ですからあの周りでも結構行けますが、ローカルな方になると体験するにも非常に厳しくなってくると思います。生涯学習課さん本当に大変だと思いますけれど、小学校の方でも鴨川地域全体で少し支えていただければありがたいと。これ以上仕事を増やすのもかわいそうかなあという気もするのですが、一つの学校で考えた場合、それぞれの学年、学級が一つしかないですから、担任一人の手で職場を開拓していくと、ダブったりいろいろ問題が出てくるので、そういった点でも今までの実績を踏まえて何かお手伝いしていただけるとありがたいというふうな気がいたします。

安田議長 課題という中に盛り込めるのかどうなのか。その辺も含めてひとつ。

板東社会教育主事 中学校ですが4月に160の事業所をお願いをして、実際に回答をいただいたのが90事業所。それで8月4日から10日の間、2日とか3日とかありますが、85の事業所にお世話になります。160の事業所をお願いするというのも大変なことですが、中学の場合小学校と違うところは5日間という長期にわたるので、3中学校で一緒に実施した方が迷惑がかからないという経緯があります。小学校でも事業所を開拓するのが難しいということがあると思いますので、例えばこういう事業所に中学校が行っているという情報は提供できると思います。小学校の先生から要望があれば中学校ではこういう所で体験していますということを発信してもいいかなと思います。

黒野課長 質問ですが、小学校のキャリア教育は今やっているということによろしいですか。各学校でやっているのですか。

滝口委員 ちょっと体験、中学よりは長期ではないのですがどこの学校でもやっています。

黒野課長 何日くらいですか。

板東社会教育主事 1日です。

滝口委員 明日は、うちは市の学習バスを借りて最後は亀田まで行きます。

安田議長 小学生は事業所としてもなかなか扱いにくいところがありますよね。

黒野課長 今中学生のキャリア教育を実施していますが、各事業所に我々職員が受入れのお願いに行きそこで言われるのが、「中学生を受け入れてあげたいけれどそれが仕事になってしまう」というようなご意見も実はありますし、実際快く受け入れた事業所でも苦情に近いようなこともあります。すべての事業所がそういうことをおっしゃっているわけではないのですが、一部で

はそういう意見があります。今各小学校でどのようにお話してお願いしているかわかりませんが、できれば小学校については従前どおり各小学校でお願いしたいと思います。

滝口委員 中学の資料があるのだから、それを見ながら担任が探していくということで。一担任にはずいぶん負担となるし、みんなが同じところへ行ったりして、ここに住んでいない地元でない先生もいるので難しい部分もあります。

安田議長 これについては今後の課題として検討していただくということでお願いします。23年度の行政評価ですからこれについては問題ないと思います。

(事務局説明)

安田議長 今提案のあった中でご検討を頂戴したいと思います。ご質問をお願い申し上げます。

仲澤委員 合宿場所を見たことがないので言えないのですが、行って担当した人たちのことから見ていかないと。先ほどおっしゃった保護者の意見等を加味して考えてもらったらどうですか。先ほど校長先生の話でも何日も付いて大変だという話も受けて、そういうところから考えていったらいいのではないのでしょうか。

安田議長 そういう指摘がございました。それについてはよろしいでしょうか。

川名 はい。

安田議長 それでは一点質問があるのですが、団体活動の活性化と地域との連携強化の中で、見守り隊というのが各地区で何か所かできていたという気がするのですが、その辺の教育委員会、生涯学習課という中での捉え方としては。

仲澤委員 ひまわり隊というのは防犯の方で。

田中係長 ただ今議長からお話がありました各地区見守り隊があると思うのですが、直接生涯学習課との接点はありません。鴨川市民会議では毎年パトロールを行っており、いつでも皆さんに協力していただいて地域の子どもを見守りたいというのが仲澤会長以下市民会議運営委員さんの考えでありますので、その辺も今後仲澤会長にお骨折りをいただきながら、市民会議とか見守り隊の皆さんと少しでも防犯上の関係で連携してパトロール等ができればいいかなとは考えております。

仲澤委員 この件については、鴨川警察署の方でひまわり隊を中心としたそういう人を集めてそういうこともやっています。

安田議長 この中での捉え方はどうしているのかなと思って、出てこなかったのでお伺いしました。

仲澤委員 長狭のひまわり隊の下部組織として長狭学園の中に自分たちで持ち上げて出来上がった長狭部会というのがあります。これは鴨川警察署へ、県警の方まで登録してありますけれども、ひまわり隊の長狭部会にしたいということで、ひまわり隊という名前を長狭部会に足しました。今のあれは大変ですから、ひまわり隊の中で一つということがいいんじゃないでしょうか。

安田議長 いろいろやっている人たちもいますので、どう連携させて把握していくかということのひとつ、これは今後の課題としては必要なことだと思います。

仲澤委員 高等学校もひまわり隊、市民会議の方へ入っています。

安田議長 青少年の健全育成については鴨川市は非常に頑張っていて、啓発等実施をしていただいておりますので、この件についていかがでしょうか。

立野委員 東条地区社会福祉協議会という中に西町の方で見守り隊というか、所々に立っていらっしゃる方もおられる。こういうのは生涯学習課では把握されていないと思います。

仲澤委員 参考ですけれども、市民会議は南房総では鴨川市と鋸南町だけで、鋸南町の事務局が鴨川市を新聞で見えています、習っていきます、みんなでやろう、やろうと言っていますと、この間安房公連の総会の時に言っていました。鴨川を見習おうということで市民会議のことを言っていました。

安田議長 もしよろしければ、青少年の健全育成の項目については了として、次へ進みたいと思いますが、いかがでございましょうか。

(「はい」との声あり)

安田議長 それでは、市民文化の振興についてというところに移らせていただきます。

(事務局より説明)

安田議長 これらについてご質問、ご意見を賜りたいと思います。  
長谷川さん、いかがですか。

長谷川委員 ありません。

滝口委員 図書の関係の、小学生、中学生の図書館の利用ですね。まず、中学生を考えると休み

は部活がある、普段は暗くまでやっている。時間的にもそれから交通面でも、図書館まで行くというのは非常に厳しい立地条件かなど。そうした場合に借りられるようにしてあげられるには、公民館みたいな所へ置くというのは一ついい方法だと思います。そのシステムがどうなっているのかわからないのですが、太海あたりではたまに、江見中にいた時に借りたいということで行っても誰もいない、曾呂の方から何時ごろに来ると、行っても無人の状態も多いのです。これは人件費の問題だと思いますけれども、図書館でそういう貸出しをするのも場所によって難しい所もあるだろうなど。では、学校にそういうふうなもので貸してくれば借りるものも多くなるだろうと思って、学校では司書教諭が実質いない、管理できないということ非常に難しい点があるだろうなど。今の時代、本が必要な時はインターネットで頼めばすぐに翌日配達、そういう時代になってきているんです。そういう点では少し考え方を考えていかないといけないのかなど。先を見通した場合にそういう図書のあり方、図書館のあり方というのがだんだん変わってくるのではないかという感じもします。小中学生に借りると言っても実際は難しい。あそこまで行って借りるとするのはよほど家の人の理解があって、夏休みの自由研究とかそういったことでやむにやまれなくて連れて行って借りて帰ってくる、そんな実情があるのではないかという感じがします。

公民館での別館的なものも大切だけれども、それができない公民館もある。学校の図書館に見たいものがいつまでもあるかということそれも難しい。また、人的な手当てですが、昔司書教諭がいて一応公文書でつけるのです。でも、それが担任であり図書館専属でいられないわけだから、そこに矛盾があります。その辺の解消を考えていくということが大きな課題じゃないかなあという感じがします。

安田議長     その辺の検討もしているようですので、洲永さん。

洲永主査     近隣の地域に住むお子さんは自分たちで来ること可能なんですけれども、遠くのお子さんは親御さんに連れてきていただくしか今のところ方法がありません。実際に図書館で資料を充実させるといっても、図書館側として子どもたちに薦めたい本を購入するくらいしか手立てがなかったので、24年度の計画にあるように中学生にアンケートをして、実際子どもたち一人ひとりに今朝読で読んでいる本を直接的に聞いて、それを集めた結果を検討した中で本を購入し、それを学校の方へ団体貸し出すという形で、持っていくような形をとりたいなという計画を立てています。それにはその分の予算化が必要になってきます。

滝口委員     管理的な部分で学校の方も先生たちの負担を考えるとなかなか進めなかったのですが、今年度は公用車もありますので、公民館と学校とを巡回できるようなシステムができたらなというように考えています。

安田議長     それについてはいろいろと相談なさっていい形にもっていくべきだし、先ほど申し上げました生涯学習ボランティアという大きな枠の中でお手伝いできる方がいるかもしれない。そういうふうに幅を広げて考えていくとできる部分もありますので、またひとつ検討していただきたい。今回は23年度の評価報告ですので、計画があるということでお願います。

滝口委員 西条小の場合にはPTAのボランティアで本の修理や整理整頓に昼休みに来てもらっています。読み聞かせも来てもらっています。田原もそうですけれども、ボランティアで管理までやっていただけるとありがたい。

安田議長 本のお好きな方っているんですね。

滝口委員 はい。直すのから始まって一生懸命やってくれます。西条あたりではほとんど直すのもなくなってきたというくらいまでやっていただいています。そういったこともひとつ考えるといかなと思います。

安田議長 読書・学習環境の充実という中で、もう一つ工夫が必要だろうということだと思います。あと、よろしゅうございますか。  
それではこの項目は了として、次へ進めていきたいと思います。  
歴史・文化の保存と活用ということに移りたいと思います。

(事務局より説明)

安田議長 この項目についていかがでございましょう。ご質問を受けます。

仲澤委員 沼野玄昌について何か考えていると聞いたのですけれども。前から郷土、例えば鴨川のというと鴨川小学校になりますが、鴨小の中で畠山勇子とか沼野玄昌を地域の子どもたちに広く知ってもらうことが夢でした。地域の子どもには地域の人のことを知ってもらうということが、せめて鴨小学区内だけでも知ってもらいたいということが夢だったのです。地域の子どもに地域のことを、せめて郷土の小学校の子どもには残してやりたいと思います。

洲永主査 今、沼野玄昌の話をしていただきましたけれども、こちらの朗読会は大人向けの朗読会としてお話しする予定ですが、小学校の高学年から対象としています。ボランティアさんに行っているお話を楽しむ会は、今鴨川の昔話をメインにお話をしています。昨年も畠山勇子さんのお話とか古泉千樫のお話などをさせていただいていますので、よろしかったらこちらの方もご参加いただくとありがたいと思います。

仲澤委員 各小学校にこれをやってもらいたいと思う。

黒野課長 今仲澤委員の方から郷土の偉人の畠山勇子氏とか沼野玄昌の話が出ましたけれども、実は鴨川には古泉千樫さん、長谷川昂さんそして伊八、こういう偉大なる歴史上の偉人がいまして、それを最近市民向け講座とか歴史的な教室を作りまして、様々な場所で我々も解説なりご案内させていただいております。そういう中で今回図書館の方で郷土の偉人の人たち、具体的に名前を出しまして各学校にアンケート調査をしましたところ、ほとんど知



らないですね。日蓮でさえ半分くらいしか知らない状況となっております。前教育長も郷土を愛する子どもをつくるという思いがありまして、郷土の偉人の本も作りまして学校に配布したり、図書館、郷土資料館でも子ども郷土史講座、こういうものも事業の中で子どもたちに偉人を紹介していくような取り組みを最近行っております。小学校等々においてもさらにそういう取り組みを進めていき、鴨川市の子どもに郷土の偉人について伝えていきたいと考えております。

仲澤委員　私の夢です。各地区に、吉尾には吉尾の子どもすべて古泉千樞は誇りだというくらいの思いを持ってもらいたいと。

安田議長　今仲澤さんからそういうご意見があり、この評価の中に歴史・文化の保存と活用の中に入るかどうかわかりませんが、自分のまちを誇れる人材を作るというのでしょうか、人間性を作るというのでしょうか、よくよその町へ行きましたら子どもに「お宅の町はどんな町」と聞くとスッと自分の誇れる町のいいところを言う子どもがいるのです。そういうところをただ周知する、学習させるだけではなく、町を誇れるようなものにするところまで踏み込めるとうれしいと、こういうのが私の意見です。

石川主査　各委員さん、貴重なご意見だと思います。事業報告の中でもお話させていただきましたけれども、県指定文化財薬王院薬師堂の改修工事が行われました。建物全体を解体してまた組み直すといふかなり大きな大規模な事業だったのですが、昨年度の取り組みの一つでご報告したいのは、建物を建て直していく状況の時、2月ですけれども、完成間際のその時でしか見られないようなものを西条小学校5年生、6年生に見ていただいて、文化財に対する価値、重要なこと、栗斗という地域あるいはその周辺の歴史性や地域性というものを、実際の文化財を見ながらわかりやすいように建築工事を担当した建築家の方あるいは文化財担当者として私からも説明させていただきました。

仲澤委員さんおっしゃるように、地域ごとに細かい歴史をそこに住んでいる子どもたちに深く知ってもらうという取り組みは、今後とも継続していきたいと思っております。そのためには、非常に大変だと思いますが担任の先生に引率していただくなど協力をお願いして、そういう協力体制というのも築いていながら地域を愛する、地域のことをよく知っている子どもを小学校の頃から育成していく取り組みを継続していきたいと思っておりますので、いろいろご協力をお願いしたいと思います。

滝口委員　このお話をいただいて非常にありがたいと思いました。私もやはり地域のことを知ってもらいたいと思って、長谷川昂さんや波の伊八のこと、あるいは二宮金次郎のことなど、全校長会等でお話しましたが、アンケートを見ると忘れていた者もいるのです。やはり繰り返しの学習が必要で、我々教職員も地域を調べることを結構やっています。各学年ともそれから校長も率先してそういうことを奨励していかなければいけないということで、地域の偉人といった部分は西条の中庭にも長谷川昂さんのブロンズもありますし、機会あるごとに来賓の方たちにも紹介してきました。

安田議長　それでは、歴史・文化の保存と活用についていかがでしょう。天津の方にはそれこそいろんな文化財がたくさんございますけれども。

長谷川委員　わかりません。

仲澤委員　鴨川市のこと全部を知ろうとするのは大変です。

安田議長　それではないようでございますので、この評価の報告については終了したいと思います。

なお、これは当然これから教育委員会の報告があり、議会への報告という段階を踏みますので、現在の字句そのままというわけにはいかないかもしれません。多少の修正はあるかもしれませんが、皆さんにご了解を頂戴したいと思います。よろしくお願いを申し上げます。

以上で議事は全部終わったわけでございますが、あと連絡、その他ということに移りたいと思います。ありがとうございました。

【議事終了】

- 
- その他
- ・ 安房地方社会教育振興大会について
  - ・ 報酬・費用弁償等について

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をします。

平成24年 8月22日

《会議録署名人》

鴨川市社会教育委員

立野 慶子

---